

科目ナンバー：(A) CC UAB 9 703、(B) CC UAB 9 704

国際地域経済演習 A、B Seminar on International and Regional Economy		(教員名) 李 捷生、有賀 敏之、金子 勝規	
国際地域経済研究領域 演習科目	演習科目	必修	
	各 2 単位	2018 年度 Aは前期、Bは後期	
I 科目の主題 創造都市の経済的諸機能は、都市内部のみならず国際的な経済関係にも規定される。本研究領域では、創造都市を取り巻く経済現象を、グローバル、リージョナル、ローカルの3層レベルの相互関連において研究する。 たとえばアジア地域経済研究を、都市と農村の関係、都市における産業集積や労働市場といったローカル要因とアジアをめぐる地域経済統合というリージョナル要因に加えて、国際的産業連関や多国籍企業のグローバル戦略といったグローバル要因の相互関連のなかで研究する。同時にグローバリズムに対抗する論理を東アジアにおいてどう構築するかについても検討する。とくに東アジア市民社会の構築について現状と問題点を探る。			
II 授業の到達目標 本演習においては、博士学位論文の完成に向けて、学位論文の各章の原型となる個々の論文の作成の実際的な指導を行うとともに、並行して専門書の輪読や報告を行い、博士論文の執筆に必要な素養を涵養する。予備論文提出の前提となる 2 本の投稿論文の完成を、到達目標として掲げる。			
III 授業内容・授業計画 下記のような専門研究領域において、国際地域経済研究の方法や研究状況および最新の研究成果について研究する。 1 国際地域経済政策と多国籍企業に関する研究【有賀 敏之 教授】 2 東アジアにおける労働市場と労使関係に関する研究【李 捷生 教授】 3 東南アジアの産業発展と地域経済に関する研究【金子 勝規 准教授】			
IV 事前・事後の学習内容 授業は基本的に受講生の作成したレジュメもしくは論文それ自体に基づく報告であるから、各自の平素の研究は固より、事前の準備が欠かせない。			
V 評価方法 平常点（出席したうえでの、討議への参加、報告など）による。			
VI 受講生へのコメント 各自、問題意識をもって参画すること。			
VII 教材 使用教材については、開講後に受講生と相談のうえ決定する。			